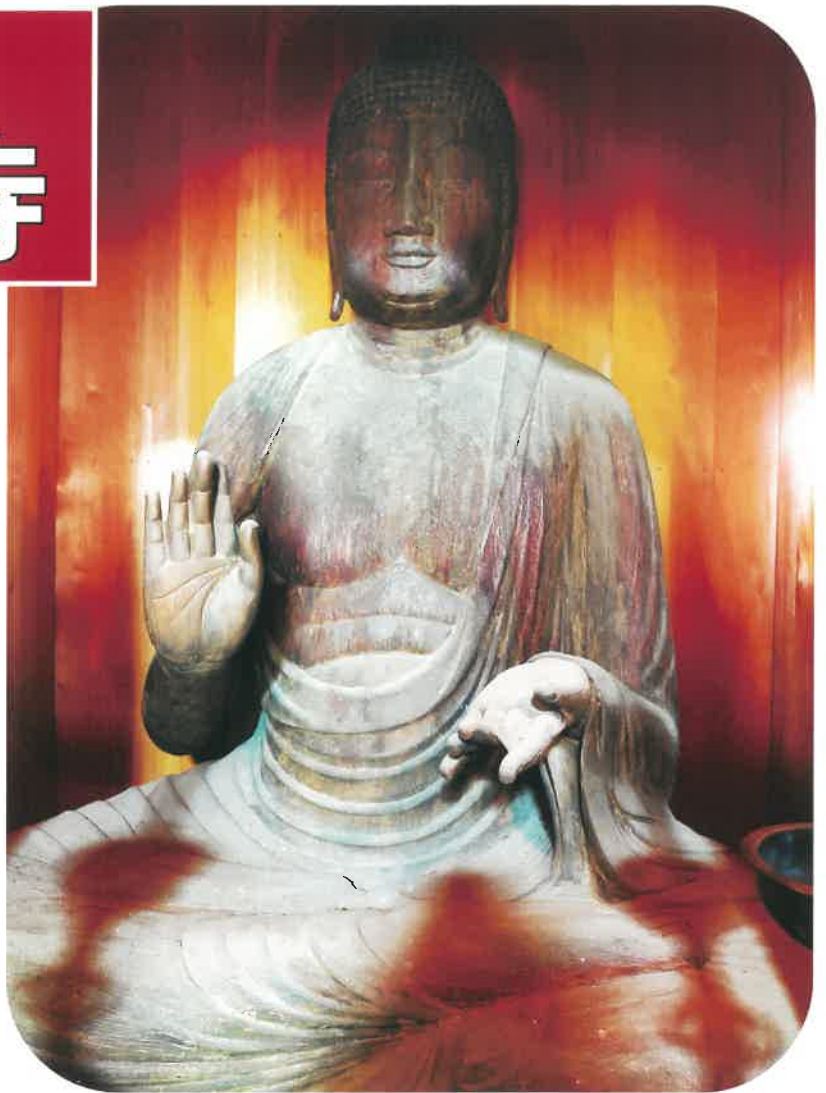


# 地元を知る

# 舎衛寺

舎衛寺（しゃえいじ）は岐阜市城田寺にある真言宗御室派の寺院。船田合戦終焉の地の碑がある。

平安時代前期の天慶5年（942年）に天から舎衛国と書かれた旗が降り落ちてきたため、その奇瑞により寺を建立し舎衛寺と命名した。また、旗が墮ちてきたことに因み別名を旗墮寺と称した。所在地の地名である城田寺は旗墮寺の転訛したものである。



本尊の釈迦如来坐像は岐阜県指定の重要文化財となっている。保元元年（1156年）には後白河天皇の発願により阿弥陀如来と薬師如来が納められたと伝わる。戦国時代の明応4年（1495年）に起きた船田合戦で土岐成頼は当寺で出家し隠棲を余儀なくされた。また、その翌年に船田合戦の決戦である城田寺城の戦いで焼失して現在地に再建される。



青面金剛

**開催日時**  
令和5年10月25日（水）  
午前10時から12時半まで



お弁当のイメージ

**募集** 10月15日に締め切ります。  
**集合** 集合方法は希望者にお知らせします。  
**解説** 舎衛寺住職、午前10時より  
**食事** 本堂で古風人のお弁当をいただきます。  
**費用** 3,500円（当日徴収）

〒500-8003 岐阜市大宮町2丁目18-1  
☎058-265-0010（担当 井川、三山）

## 岐阜市歴史博物館友の会

加藤栄三・東一記念美術館

— 10月15日までに申し込みにく—

地元を知る 参加申込書	氏名	会員 番号	住所 電話
	氏名	会員 番号	住所 電話